

山田忠良

2021年5月31日号



Yamada Tadayoshi 議会レポート No.6

39歳

3月8日～3月30日まで第一回定例会が開催され、議会人事が一新し、令和2年度のコロナ関連補正予算や令和3年度暫定予算が成立いたしました。

緊急事態宣言が再度延長される中、西東京市では75歳以上の方のワクチン接種が開始され、65歳～74歳の方は6月上旬から予約開始、接種開始は6月中旬頃の見込みです。約80か所の市内クリニックでの個別接種も開始され、1か月で約5万回の接種体制を確保しています。

コロナ禍において**200件以上**の市民相談をいただいております。今後も**行政書士**の資格を生かし、若さと行動力で事業者支援、お困りごとの解決に全力で取り組んでまいります！



～令和3年 第1回 西東京市議会定例会が開催されました～

3月から**建設環境委員会副委員長**に就任いたしました。

また、ホームページや議会だよりを担当する**広報委員会**、**都市計画審議会**、**三多摩上下水及び道路建設促進委員会（三水協）**も勤めます。

「行政のデジタル化、DX(デジタルトランスフォーメーション)について」

質問 コロナ禍によって私たちの生活様式は大きく変化し、在宅勤務やリモートワーク、キャッシュレス決済の導入などが進みました。国はデジタル庁の設置に向け原則すべての行政手続をオンライン化するとしていますが、西東京市は今後どのように取り組んでいくのか。

答弁 西東京市としても、自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータ等を活用して市民の皆様の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務の効率化を図り、限りある人的資源を行政サービスのさらなる向上につなげていく必要があると考えております。

また、課題であります庁舎統合にむけた検討においても、IT技術の活用といった視点からも検討する必要があると考えております。

「まちのグランドデザインについて」

質問 市長は選挙公約、また所信表明において、まちのグランドデザインを描くと述べられました。他市においてもまちの将来ビジョンを市民と共有し、共にまちづくりを進めていく取り組みが進められているが、市長が言うまちのグランドデザインはどういったものなのか。

答弁 市では現在まで、行政全般の施策を網羅的に掲げる総合計画と分野別の各種計画との間で、連携を図りながらまちづくりを進めてまいりましたが、これらの諸計画で示すまちの将来像が市民の皆様に具体的にイメージしていただけたかという点につきましては、必ずしも十分ではなかったのではないかと認識をしております。

今後、市民の皆様と将来の西東京市のまちづくりのイメージを視覚的に共有することができるまちのグランドデザインを描いてまいりたいと考えております。

令和2年度 一般会計補正予算に賛成討論いたしました

議案第3号 令和2年度西東京市一般会計補正予算(第12号)に対し、自由民主党西東京市議団を代表して賛成の立場から、私・山田忠良が討論を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策として、希望される市民の皆様が確実にワクチンを接種できるよう、万全の準備をするよう要望します。

また、市長公約のもう1つの柱であります事業者支援策として、市内消費喚起事業、キャッシュレス決済ポイント還元事業、そしてエッセンシャルワーカー応援事業の3事業については、商工会等とも連携し、いち早く事業者がこれらの事業の効果を感じられるような取組を求めます。また、**困窮する若者支援**についても、今後検討することを求めます。

新型コロナウイルス感染症への対策については、いまだ道半ばであると考えております。今後も切れ目のない支援を検討することを求め、本議案に対する賛成討論といたします。



「行政のデジタル化、DX(デジタルトランスフォーメーション)について」

質問 コロナ禍によって私たちの生活様式は大きく変化し、在宅勤務やリモートワーク、キャッシュレス決済の導入などが進みました。国はデジタル庁の設置に向け原則すべての行政手続をオンライン化するとしています。西東京市は今後どのように取り組んでいくのか。

答弁 西東京市としても、自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータ等を活用して市民の皆様の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務の効率化を図り、限りある人的資源を行政サービスのさらなる向上につなげていく必要があると考えております。

また、課題であります庁舎統合にむけた検討においても、IT技術の活用といった視点からも検討する必要があると考えております。

「まちのランドデザインについて」

質問 市長は選挙公約、また所信表明において、まちのランドデザインを描くと述べられました。他市においてもまちの将来ビジョンを市民と共有し、共にまちづくりを進めていく取り組みが進められているが、市長が言うまちのランドデザインはどういったものなのか。

答弁 市では現在まで、行政全般の施策を網羅的に掲げる総合計画と分野別の各種計画との間で、連携を図りながらまちづくりを進めてまいりましたが、これらの諸計画で示すまちの将来像が市民の皆様に具体的にイメージしていただけたかという点につきましては、必ずしも十分ではなかったのではないかと認識をしております。

今後、市民の皆様と将来の西東京市のまちづくりのイメージを視覚的に共有することができるまちのランドデザインを描いてまいりたいと考えております。

令和2年度 一般会計補正予算に賛成討論いたしました

議案第3号 令和2年度西東京市一般会計補正予算(第12号)に対し、自由民主党西東京市議団を代表して賛成の立場から、私・山田忠良が討論を行いました。

本議案は、例年の精算補正と合わせ、新型コロナウイルス感染症対策に係る関連経費の補正を行うもので、歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億6,280万2,000円を追加し、総額を1,058億3,504万4,000円とするものです。

新型コロナウイルス感染症対策として、まず、ワクチン接種事業に関しましては、これまで昨年12月に組織を設置し、1月にはワクチン接種に係る体制整備に関する補正予算を成立させるなど、他の自治体に比べ早期にワクチン接種に向けた準備を進めてきたと考えております。

ワクチン接種は、いまだスケジュールを含め国からの情報が不足している状況ではありますが、希望される市民の皆様が確実に接種できるよう、様々な情報をしっかりと市民に届けていくことが必要であります。その上で、本議案では、集団接種をはじめ、コールセンターや啓発サイトに係る経費を含め、20万市民の接種を円滑に進めるための経費が計上されておりますので、万全の準備をしていただきますようお願いいたします。

また、市長が公約で掲げたもう1つの柱であります

事業者支援策として、市内消費喚起事業、キャッシュレス決済ポイント還元事業、そしてエッセンシャルワーカー応援事業の3事業をスピード感を持って補正予算に計上されたことについて、評価させていただきます。新型コロナウイルス感染症の拡大により、市内経済は大きなダメージを受けております。コロナ禍で疲弊している市内経済の回復を実現し、日常生活を取り戻せるよう、しっかりと商工会等とも連携を図り、いち早く事業者がこれらの事業の効果を感じられるような取組を期待しております。また、困窮する若者支援についても、今後検討することを求めます。

なお、本案に対する修正案が提出されましたが、修正案は瑕疵ある議案でありましたので、否決とさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症への対策については、いまだ道半ばであると考えております。その影響は、市民生活の様々な場面に及んでおり、本議案に計上された事業を着実に実施するとともに、なるべく早く1年を通じた本予算の編成に取りかかり、切れ目のない支援を検討いただくことに期待して、本議案に対する賛成討論といたします。

「芝久保小学校にシャワーを設置！」

感染予防としてマスクをしながらの運動はとてハードです。子ども達の熱中症対策として、代表が私の支援者でもある市内事業所の『多摩商工』さんが芝久保小学校にミストシャワーを設置・寄贈してくださいました。

コロナや暑さに負けず、子ども達に元気いっぱいスポーツを楽しんでもらいたいです！



皆様のご意見、ご要望を
山田忠良が
市政に届けます!

携帯番号 090-6945-2650
E-mail: tad2720@gmail.com

TEL/FAX 042-445-1209

西東京市芝久保町4-2-28 富士コーポ301

